

# 週間市場レポート (2021年12月6日~12月10日)

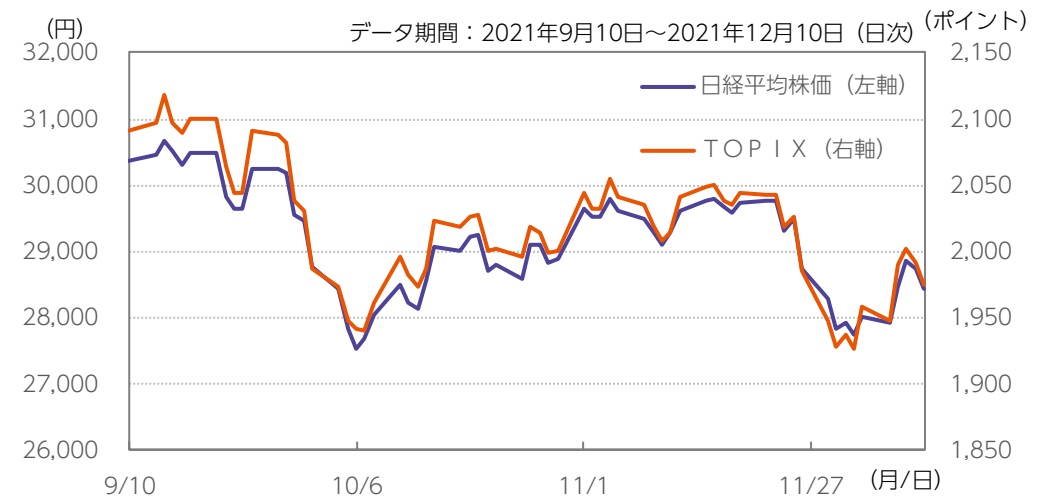
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/12/3	先週末 2021/12/10	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,029.57	28,437.77	1.46 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,957.86	1,975.48	0.90 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,580.08	35,970.99	4.02 ↗
S & P500種指数		4,538.43	4,712.02	3.82 ↗
ナスダック総合指数		15,085.47	15,630.60	3.61 ↗
ユーロ・ストックス50指数		4,080.15	4,199.16	2.92 ↗
S & P/ASX300指数		7,244.60	7,364.10	1.65 ↗
上海総合指数		3,607.43	3,666.35	1.63 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		963.37	976.38	1.35 ↗
東証REIT指数		2,024.27	2,071.16	2.32 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		906.69	930.40	2.62 ↗
ASX300 REIT 指数		1,673.20	1,718.00	2.68 ↗
グローバルREIT (除く日本)*		214.29	219.06	2.22 ↗
日本10年国債 (%)		0.053	0.056	0.003 ↗
米国10年国債 (%)		1.343	1.484	0.141 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.388	▲ 0.346	0.042 ↗
英国10年国債 (%)		0.747	0.741	▲ 0.006 ↘
ドル/円		112.80	113.44	0.57 ↗
ユーロ/円		127.64	128.32	0.53 ↗
英ポンド/円		149.25	150.53	0.86 ↗
豪ドル/円		78.95	81.33	3.01 ↗
フィラデルフィア半導体指数		3,804.54	3,914.67	2.89 ↗
WTI原油先物 (ドル)		66.26	71.67	8.16 ↗
CRB指数		220.64	225.91	2.39 ↗

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

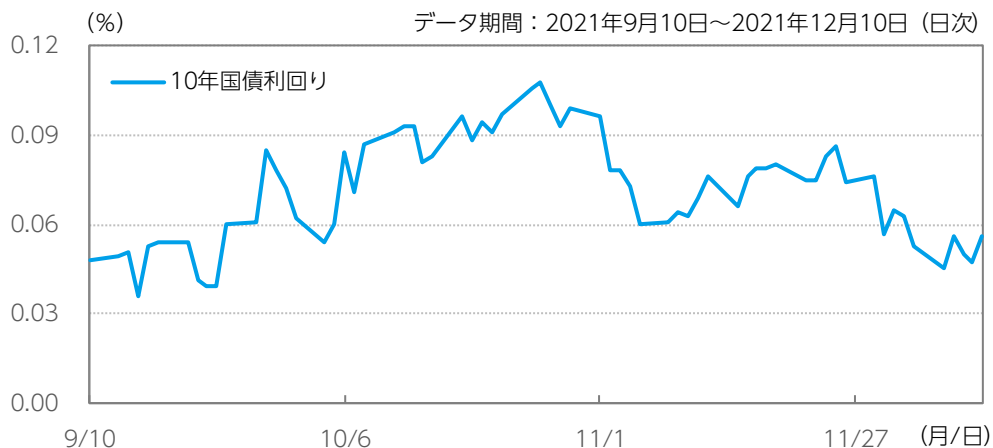
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。前週末の米国株式市場でグロース（成長）株の下げが大きかった流れを受け、週初は下落しました。その後は、新型コロナウイルスの変異型である「オミクロン株」による重症化リスクへの警戒感が和らいだことなどから、景気敏感株を中心に買われ、2日連続で上昇しました。2日間の上昇が幅が900円を超え、高値警戒感から利益確定売りに押される場面もあったものの、週間では前週末比で上昇となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成  
※現地通貨ベース \* ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

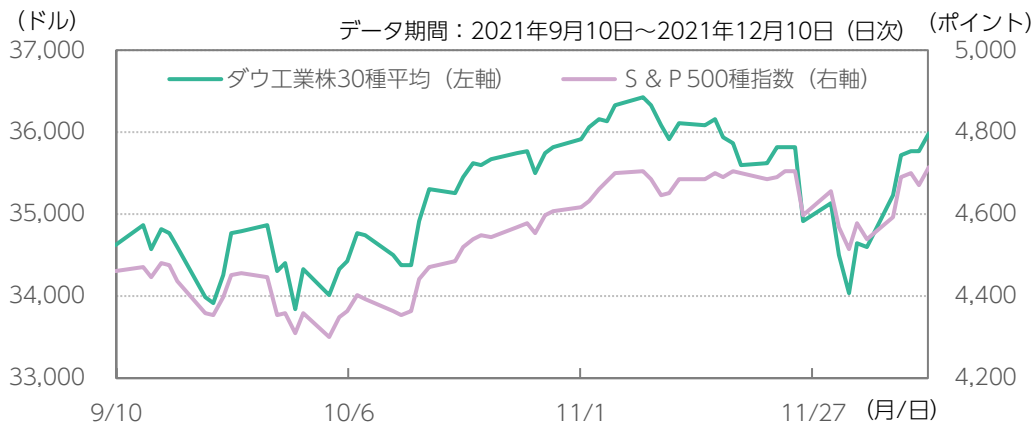
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。オミクロン株の感染拡大懸念から、相対的に安全資産とされる国内債券は買われたものの（利回りは低下）、感染による重症化リスクへの懸念が後退すると、国内債券は売りが優勢となり（利回りは上昇）、週間では前週末比で横ばいとなりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

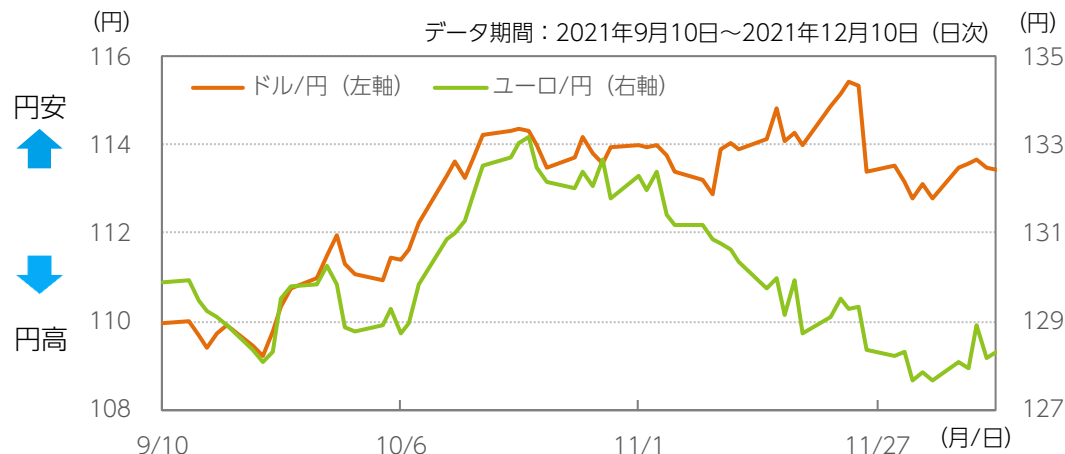
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇しました。国立アレルギー感染症研究所のファウチ所長が、オミクロン株の重症化リスクについてやや楽観的な見解を示したことから、過度な警戒感が和らぎ、週初より上昇基調となりました。週末に公表された11月の米消費者物価指数は前月から上昇したものの、市場予想通りであったため、インフレ加速への警戒感が和らいだことから買い安心感が広がり上昇しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。国立アレルギー感染症研究所のファウチ所長の発言を受け、オミクロン株の感染拡大による景気の先行きへの過度な懸念が和らいだことなどから、投資家のリスク選好姿勢が強まり、週を通じて円売り米ドル買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、新型コロナウイルスの変異型であるオミクロン株による感染拡大をめぐる過度な懸念が後退し、日米両市場ともに上昇しました。

米国国立アレルギー感染症研究所のファウチ所長は、オミクロン株の感染後の症状について、深刻ではないとしたものの、各地での感染拡大を受けブースター（追加免疫）接種の必要性について指摘しています。英国など欧州ではオミクロン株の感染者数が急増しており、一部地域では再び行動制限が強化されています。10日（金）に公表された11月の米消費者物価指数は前年度月比6.8%と、前月から加速しました。米連邦準備制度理事会（FRB）は今週14、15日の日程で開催される米連邦公開市場委員会（FOMC）において、テーパリング（量的緩和縮小）の加速を決定する見方が強まっています。

今週は、日米欧の金融政策決定会合が開催されます。日本は現状維持が予想されますが、米国はテーパリングの加速、欧州は資産購入プログラムの期限について議論されそうです。株式市場は、週央のFOMCまでは、様子見ムードから動きにくい展開が予想されます。FOMCを波乱なく通過となれば、買い安心感が広がり、上昇するものと予想します。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>